

特集

保健指導力を上げる 対象者に寄り添う支援をめざして

いま「保健指導」に求められる能力とは 鳩野洋子

保健指導におけるコミュニケーションのコツ
コーチングの活用 鱸伸子

【実践例】

①特定保健指導のポイント 門田しず子

②乳幼児健診における保健指導のポイント 浦田浩子

③精神障害者の退院・生活支援における
保健指導のポイント 木本知子

「リフレクション」で保健指導力を高めよう！

「学習成果創出型プログラム」活用のすすめ 岡本玲子

PHOTO

長浜市における「ながはま健康ウォーク」の取り組み

連載

【事例集】新しい健康日本 21 へのヒント 馬場優子

聞き書き 保健師ものがたり[特別区編] 木村哲也

統括保健師の日々 高畑郁代

現場の疑問に答える 地域づくり型保健活動 Q&A 岩永俊博

ナカイト発 保健師へのつぶやき 中板育美

ニュースウォーク 白井正夫

編集後記

●保健師教育の多様化や実習単位の増加など、保健師実習のありようが変わっている。本号の記事でも、保健師学生に保健師の魅力を伝えようとする先輩保健師たちの思いがあふれている。保健師実習を受けてから保健師に志望を変えた学生がいるという話は、『保健師ジャーナル』の編集者としては、嬉しくまた心強く感じる。同時に、弊誌が読まれることで、保健師をめざす人が増えてくれるような雑誌づくりに努めたい。

(杉之尾)

●統合カリキュラムから選択制への移行は、大学における保健師教育の主流となりました。そして、選択制を開始した学校の多くは、その流れの先に大学院教育を見据えていることでしょう。しかし、選択制による学生数の制限や実習の充実が、必ずしも質の高い保健師の養成を担保するわけではありません。現場が求める保健師像の再考を含め、選択制カリキュラムをしっかりと評価することが、修士課程を巡る保健師教育を展望する鍵になりそうです。

(和田)

●4月14・16日に発生した熊本地震では、現地および全国の保健師がいち早く被災者支援にあたりました。保健師の方々の活動に敬意を表しますとともに、その内容は今後弊誌でも伝えていきたいと思っています。

(伊藤)

保健師ジャーナル 第72巻6号 2016年6月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan

1部定価：本体1,400円＋税

2016年間購読料(送料弊社負担) 冊子版：本体14,280円＋税、冊子＋電子版/個人：本体17,280円＋税、

電子版/個人：本体14,280円＋税

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：和田／杉之尾／伊藤

Twitter <http://www.twitter.com/hokenshiJ> Facebook <http://www.facebook.com/hokenshiJ>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。